

会社概要

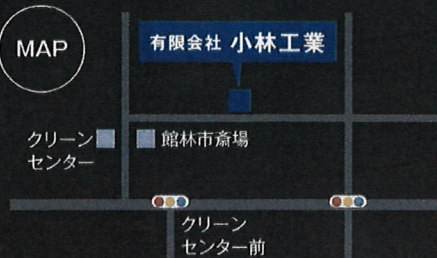
企業名 有限会社 小林工業
代表 取締役 小林 雄一
資本金 300万円
設立 昭和48年
主要取引先 油研工業株式会社
従業員数 9名
所在地 〒374-0042 群馬県館林市近藤町48-72
TEL 0276-73-1370
FAX 0276-73-1378
MAIL kobayashi-kogyo@camel.plala.or.jp

社内設備

| | |
|-------------------------|-------|
| ダイヘン 半自動溶接機 350A | 4台 |
| パナソニック 半自動溶接機 350A | 1台 |
| ダイヘン アーク溶接機 250A | 3台 |
| ダイヘン 水冷式交直両用TIG溶接機 350A | 2台 |
| ナショナル 交直両用TIG溶接機 200A | 1台 |
| 作業用定盤 4'×8' | 1台 |
| 作業用定盤 5'×10' | 1台 |
| 作業用定盤 3m×6m | 1台 |
| 日本ドライブイト スタッド溶接機 JDI80 | 1台 |
| ダイヘン エアープラズマ 切断機 A50 | 1台 |
| 天井クレーン 2.8t | 3基 |
| 日立 バンドソー CB32FB | 1台 |
| アマダ アイアンワーカー IW-45 | 1台 |
| アイザワ 6mmシャーリング 幅1200 | 1台 |
| イノウエ 100t ベンダー 幅 2000 | 1台 |
| オークマ 汎用旋盤 | 1台 |
| 直立、卓上 ボール盤 | 計6台 等 |



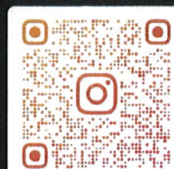
KOBAYASHI
INDUSTRIAL COMPANY



Google Mapで詳細を
確認することができます



小林工業の最新情報を
Instagramで発信中!



@KOBAYASHI.KOGYO

有限会社 小林工業

所在地: 〒374-0042 群馬県館林市近藤町48-72
TEL: 0276-73-1370 FAX: 0276-73-1378
MAIL: kobayashi-kogyo@camel.plala.or.jp

油圧機器専門メーカー
油研工業(株)認定工場

有限会社 小林工業

COMPANY PROFILE



KOBAYASHI
INDUSTRIAL COMPANY

人が技術をつなぎ 技術が魂をつなぐ

三畳ほどの土間の工房から、弊社の歴史は始まったと聞いております。ブリキ板での筐体加工を生業とした創業者が私の祖父であり、以来モノづくりの経脈が生まれ、会社として成立したのが1973年(昭和48年)であります。時代の流れと共に人も変わり品も変わり、「製缶板金」が現在の業態となりました。ただ、人や品が変われど、脈々と受け継いできた「技術(わざ)」と、それで示す「魂(おもい)」は変わらず我々の中に息づいており、これより先も変えてはならない部分であります。

IoTやDXと言った先端技術の類を取り入れる事が難しい「職人」と呼ばれる業界において、いかにフレキシブルに世の中に対応していくか、という事がこれから先の我々の命題でもあるでしょう。しかしながら、この「手仕事」に対する価値や有用性は失われてはいけないのも事実であります。

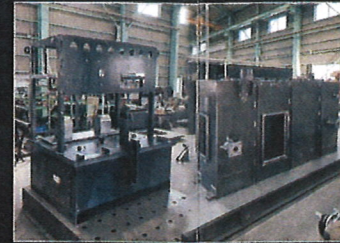
先の時代、我々の子供たちの世代やその後世に至るまで、この「技術(わざ)」と「魂(おもい)」の二つを途切れさせず無くつないでいき、かつて技術大国と呼ばれたこの国に生きる我々の、「日本のモノづくり」を支える柱の一つになりたいと思います。



代表取締役社長

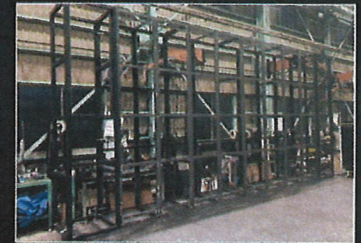
小林 雄一

我々が手掛ける モノ・コト



製缶

主として油圧ユニットのオイルタンクを製造しています。その他、タンク消防法検査、塗装下地処理(表面処理)、焼鈍処理、機械加工等、幅広く対応可能です。



精密板金

各種鋼材、銅板を用いた機械架台、フレーム、構造物等、W3m x L6m程度までの製作が可能です。
(対応材質:SS、耐候性鋼、SUS、アルミ等)



溶接

半自動溶接、アーク溶接、TIG溶接など様々な溶接作業の請け負いが可能です。各種別のJWES溶接検定を合格し、資格更新も継続中です。



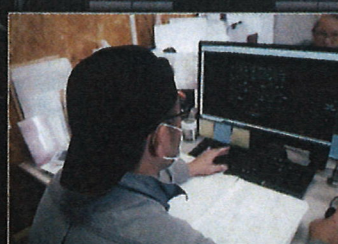
若手技能者の活躍

弊社工場長は業界内でも若い世代である30代。様々な経験を積極的に積んだ若い力が活躍しています。



社内検査

製作中の工程内検査は元より、製品完成後の寸法検査や出荷前の外観検査までを入念に行い、製品クレーム発生ゼロを目指します。



CAD

汎用CADを用いて図面の展開や材料発注をおこなっております。協力業者殿と連携し、より早いスピード感と正確性の向上を図ります。



技能実習生

ベトナムより技能実習生を例年受け入れており、日本語の教育や生活面等でのサポートまで実施しています。



地域伝統行事への参画

市内祭礼における神輿渡御や手筒花火の放揚を通じて地域とのつながり、文化の継承等に寄与しております。